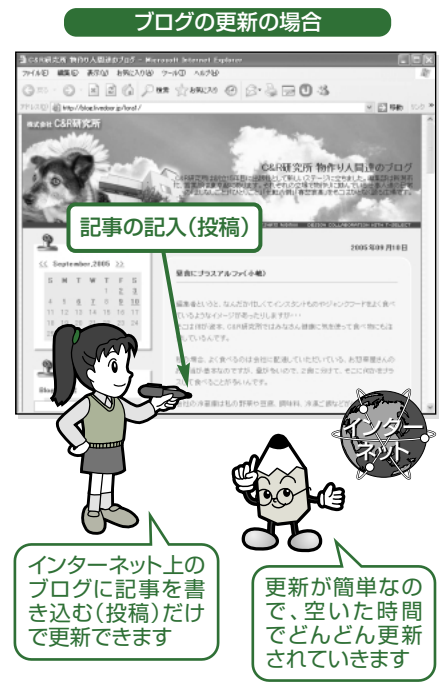
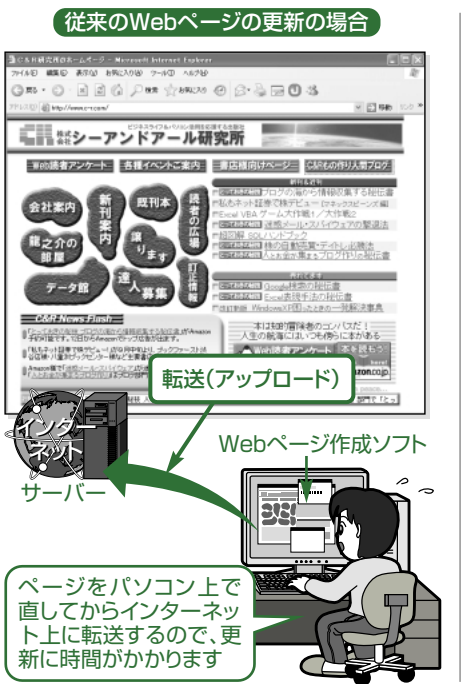


秘伝 01 ■なぜブログが「情報の宝庫」になっているのか

ブログは無料で利用できるため、年々利用者が増え続け、現在は300万人以上の利用者がいるといわれています。しかし、利用者が多くだけでは「情報の宝庫」にはなりません。ここでは、従来のWebページではなく、なぜブログが「情報の宝庫」になっているのか、その理由について解説します。

■ブログは従来のWebページよりも更新頻度が高い!

従来のWebページでは、HTML文書を作成するために、Webページ作成ソフトやHTML言語の知識が必要でした。しかも、情報を更新するたびにインターネット上のサーバーにWebページをアップロード(パソコンから転送)する必要があり、1ページ分の情報を更新するにも手間がかかります。これに対し、ブログではデザインやレイアウトはブログサービス側で用意してくれるので、プログラマー(ブログの作成者)は公開したい情報(文章や画像)だけを用意します。しかも、ブログの更新は、ブラウザや携帯電話などから自分のブログに新しい記事を投稿するだけなので簡単です。このため、一般的にブログの更新頻度はWebページより高く、必然的に情報量は多くなります。



■ブログならパソコンビギナーでも専門知識を公開できる!

従来のWebページは、インターネット上のサーバー(たいていは無料レンタルサーバーやプロバイダのサーバーを利用する)に保存スペースを確保してから、そこにHTML文書をアップロードすることで公開することができます。ある程度のパソコンの知識が必要になるため、Webページの開設や運営は、パソコンビギナーには敷居が高いといえるでしょう。

しかしブログならば、Webページを閲覧できる程度の知識で開設が可能です。そのため、「仕事の専門知識はあるがパソコンは初心者」の人にとって、絶好の情報発信の場になり、必然的に、専門的な情報はWebページよりもブログの方が多くなっていきます。



■ブログは不特定多数の人が参加して情報が増えていく!

従来のWebページでもリンク機能はありましたが、特定の情報や個別のページにリンクするためには、1つ1つリンクを貼らなければならないので手間がかかります。

ブログの場合、他のブログの記事に関連する記事を自分のブログで書き、それを相手の記事からリンクさせることが簡単にできます(トラックバックという)。この仕組みを利用すると、記事が次々と連鎖していき、巨大な「情報の集合体」になります。

また、ブログの各記事には閲覧者がコメントを書き込むことができるため、プログラマー(ブログの作成者)とのやり取りによって、さらに深い情報が引き出されることがあります。

